

Ⅱ) こども部会

1. 開催概要

学校施設の整備に当たっては、施設の老朽化や少子化に伴う児童生徒数の減少などの社会情勢を踏まえながら、将来における子ども達の学びに対応した学校づくりを検討していくことが必要です。特に優先度の高い大根中学校区において、学校施設整備構想の策定を予定しており、その検討を進める中で、児童生徒の意見を把握し、みらいの学び舎づくりに反映することを目的に、参加型・対話型の取組としてこども部会を開催しました。

本部会においては、「①異学年交流の体験」「②学校内での自分たち（子どもたち）の居場所を考える」を目的とし、全体を通して「みらいの後輩たちに贈る学び舎」を考えていただきました。

日時	令和7年8月21日(木)9時～15時
場所	みんなの食堂☆ラパニス(秦野精華園内)
テーマ	みらいの後輩たちに贈る学び舎
対象	広畑小学校、大根小学校、大根中学校の児童生徒、秦野高校の生徒、東海大学(児童教育学科、建築学科)の学生
参加者数	29名

Ⅱ) こども部会

2. 当日の流れ

●開会・挨拶・オリエンテーション

①市担当者より、趣旨を説明

- ・ 大根中学校区の学校施設整備構想策定に向けて検討を進めている。
- ・ 実際に学校で過ごす時間が長い児童生徒の意見を聞き取り、どのような学校を望むか自由なアイデアを伺いたい。

②オリエンテーション

- ・ 小学校から大学生までが混ざったチームを組み、チーム対抗ジェスチャーゲームを実施。

●午前のワーク

③アイスブレイク・インプット

- ・ 自己紹介シートに「学校の好きなところ/小中学校の思い出」を記入し、グループ内で自己紹介
- ・ ワークの進め方を説明
- ・ 新しい学校のイメージを思い浮かべるため、事例を紹介

④ワーク「新しい学校で、こんなことができたらいいな！ こんな場所になったらいいな！」

【題目】

新しい小中学校のイメージを見た上で、

- ✓ どんなことがしたい？できそう？どんな風だったらもっと良い？
- ✓ 特にお気に入りのシーンは？

- ・ 題目に対して、個々で付箋に意見・アイデアを書き出し、模造紙に貼りながらグループで共有。
- ・ 他の人のアイデアも聞いた上で、特にお気に入りのシーンのイラストを描く。

⑤発表

- ・ ワークで出た意見・アイデアを全体で共有。
- ・ 各グループの発表に対して、大学生からコメントをいただく。



▲市担当者より、開会の挨拶・趣旨説明を行っている様子



▲付箋にアイデアをたくさん書き込んでいる様子



▲ワークで出た意見・アイデアを発表している様子

Ⅱ) こども部会

2. 当日の流れ

●午後のワーク

⑥インプット

- ・ ワークの進め方を説明

⑦ワーク「新しい学校をつくろう！」

【題目】

新しい小中学校のイメージを持った上で、

- ✓ 異学年交流が活発に行われる学校って？
- ✓ どんな場所があれば交流する？

- ・ 題目を基に、午前中のワークでイラストに書いた、特にお気に入りのシーンを実現できる学校を考える。
- ・ 校舎や体育館、グラウンド等の配置を話し合いながら、模型をつくり、模造紙上に学校のイメージを表現する。
- ・ グループでつくった学校のコンセプトを決める。

⑧発表

- ・ ワークで出た意見・アイデアを全体で共有。
- ・ 各グループの発表に対して、大学生からコメントをいただく。

●感想アンケート&写真撮影

⑨感想アンケート・写真撮影

- ・ ワークショップの感想をアンケートに記入。
- ・ 全員で記念に撮影。

●閉会



▲ランチの際に、高校生がチヂミを焼いている様子



▲グループで協力して学校づくりを行っている様子



▲みんなで集合写真を撮影

Ⅱ) こども部会

3. 結果まとめ

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ



【小学生・中学生】

- 学年で交流できる共有スペースがほしい
- 出入口が混みにくく、スムーズに移動できる
- 教室と廊下を一体にすることで、全体が広く感じられる

【高校生・大学生】

- 他のクラスの授業も見ることができる
- 開放感があると適度な集中を保ちやすそう
- 廊下も教室として使うことで教室が広く感じられ色々な居場所ができる



【小学生・中学生】

- ベンチに収納があると良い
- 他クラスの人と交流しやすい

【高校生・大学生】

- 普段は通り過ぎるだけの場所が、居場所になる
- ベンチが廊下一面に欲しい！物置にもなる
- 長机とイスがあって、放課後に自由に勉強できる



【小学生・中学生】

- 本のジャンルで分けて欲しい
- 本を探せるコンピューターを置く
- 友達とうるさくなくても本が読める

【高校生・大学生】

- 気軽に使いやすい
- 読書だけでなく映画などが観れるフリースペース
- 友達と話しながら楽しむ
- 図書ってどの世代も使う→交流拠点になる



【小学生・中学生】

- 騒ぐ部屋と落ち着ける部屋をしっかりと分離したい
- 階数ごとにいくつか作って欲しい
- 皆でいる時間も大切だけど、一人でいる時間も必要

【高校生・大学生】

- 気持ちの整理ができてストレスが減る
- 便利だけど…きちんとしたルールが必要かも。

Ⅱ) こども部会

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ



【小学生・中学生】

- ・ 仕切りのある空間を作って欲しい
- ・ ホワイトボードにみんなで書き込める
- ・ 友達と(他クラス)と協力して勉強できる
- ・ 教室だと集中出来ないの、専用の場所を作ってほしい

【高校生・大学生】

- ・ 友達どうして勉強会!!
- ・ 異学年との交流の場となる
- ・ 勉強の意欲も湧く!
- ・ 少人数で授業ができそう
- ・ 先生と話す機会も増える



【小学生・中学生】

- ・ 直接外に出れるようにする
- ・ ガラスでできた柵と白いコンクリートで見映えを良くする
- ・ 空を見ながら給食が食べれる

【高校生・大学生】

- ・ 開放感のあるつくりで気分転換できるような環境
- ・ フィールドワーク、野外学習が行いやすい



【小学生・中学生】

- ・ 教科書とかたくさん置ける
- ・ 大きい机が欲しい
- ・ なくし物が少なくなり、自分で物が管理出来る
- ・ 鍵をかけられるようにした方がいい

【高校生・大学生】

- ・ 自己管理能力を高めることができる
- ・ ランドセルの重さ問題を解決する!
- ・ 鍵付きで、服をかけることができるようにしてほしい
- ・ 専用のロッカースペースだけあれば、クラスルームはいらないのでは?



【小学生・中学生】

- ・ 芝生の広場があったらそこで遊んで転んでも痛くないからいい
- ・ 水筒の水を補給できるところ
- ・ 10分休憩の時に軽く外の空気を吸える

【高校生・大学生】

- ・ 運動以外にも芝に寝転んで過ごしたり
- ・ 外で自由に出来るのは良い!!
- ・ 日陰やベンチがあれば過ごしやすい

Ⅱ) こども部会

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ



通路にも大教室にもなる階段

【小学生・中学生】

- ・ 滑り台をつける
- ・ スロープを作った方がいいと思う
- ・ 段差があるから前が見やすい→発表に向いている
- ・ 通るだけでなく、友達と喋ったり勉強したりできる

【高校生・大学生】

- ・ 教室よりもラフな授業
- ・ 写真が撮りやすそう
- ・ 友達同士で座布団を持って集合!!(交流)



大人数で集まれるホール

【小学生・中学生】

- ・ 学年関係なく大人数で集まれる
- ・ ピアノをホールに置く
- ・ 音楽活動が活発になりそう！
- ・ 休み時間に解放してほしい（違う学年の人とも交流したい）

【高校生・大学生】

- ・ 雨天時遊べると楽しい
- ・ 集会がしやすい
- ・ みんなでイベントができる
- ・ 地域をからめたイベントでも使えるところ

その他

- ・ うるさくできる防音の部屋がほしい
- ・ 校庭に休める小屋やベンチがほしい
- ・ 廊下とか体育館にクーラーがほしい
- ・ 習字の時に仕切りがある部屋に行きたい
- ・ 雨の日でも走ったりして遊べる(広い中庭)
- ・ 自然！生き物！森！虫！

Ⅱ) こども部会

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ



【高校生・大学生】

- ・ 教員ものびのび過ごせる
- ・ 机&イスの置き方次第では人と人の繋がりがうまれそうつくれそう
- ・ 上下関係が感じにくくなり、意見が言いやすい
- ・ 作業が効率よく進む先生の労働時間短縮につながる



【高校生・大学生】

- ・ 先輩・後輩分け隔てなく関われる環境
- ・ 課外活動の相談ができるスペース(教室以外で)
- ・ オンライン授業の収録
- ・ 5年・10年後、湿度とCO2の数を調整できる教室集中力上げる?!



【高校生・大学生】

- ・ 教員の一人一人の部屋を作る
- ・ 大人が楽しめる場所になるといいね！
- ・ 新人の先生とかは、周りが気になって休憩しづらいかも

Ⅱ) こども部会

3-1 ワーク1「新しい学校で、こんなことができたらいいな！こんな場所になったらいいな！」結果まとめ

考察

○交流を促す空間

- ・ 「他クラス・他学年の人と交流しやすい」「学年関係なく大人数で集まれる」など、学年やクラスの枠を超えた交流を重視する声が多く見られました。廊下やベンチ、ホール、階段など、通過するだけの空間を“居場所”として活用する提案もあり、偶発的なコミュニケーションの場としての空間が求められています。

→学校を「学びの場」だけでなく「人とつながる場」として捉えており、交流が自然に生まれる空間を求めていることが分かります

○自然とのつながりと開放感

- ・ 「芝生広場」「空を見ながら給食」「外で自由に過ごせる」「フィールドワークがしやすい」など、屋外とのつながりを意識した提案が多く見られました。自然環境の中で過ごすことが、気分転換やリラックスにつながるという意見もあり、開放的な空間が求められています。

→自然と調和した環境は、子どもたちにとって心地よさや安心感をもたらす重要な要素であり、学びや生活の質を高めると考えられます

○個人の時間と空間の尊重

- ・ 「一人で静かに落ち着けるスペース」「気持ちの整理ができる」「鍵付きロッカー」「自分で物を管理できる」など、個人の時間やプライバシーを尊重する空間へのニーズが強く見られました。騒がしい空間と静かな空間を分ける工夫や、個人スペースの確保が求められています。

→「みんなで過ごす時間」と「ひとりで過ごす時間」の両方を大切に、学校にもその選択肢があることを望んでいることが分かります

○柔軟で多様な学びの場

- ・ 「廊下も教室として使う」「仕切りのあるフリースペース」「少人数で授業ができる」「先生と話す機会が増える」など、従来の教室の枠にとらわれない学びのスタイルが提案されています。教室以外の場所での学びや、他学年・他クラスとの協働学習が意欲を高めるという声もありました。

→空間の使い方によって学習意欲や集中力が高まるため、学びの場がもっと自由で柔軟であることを望んでいることが分かります

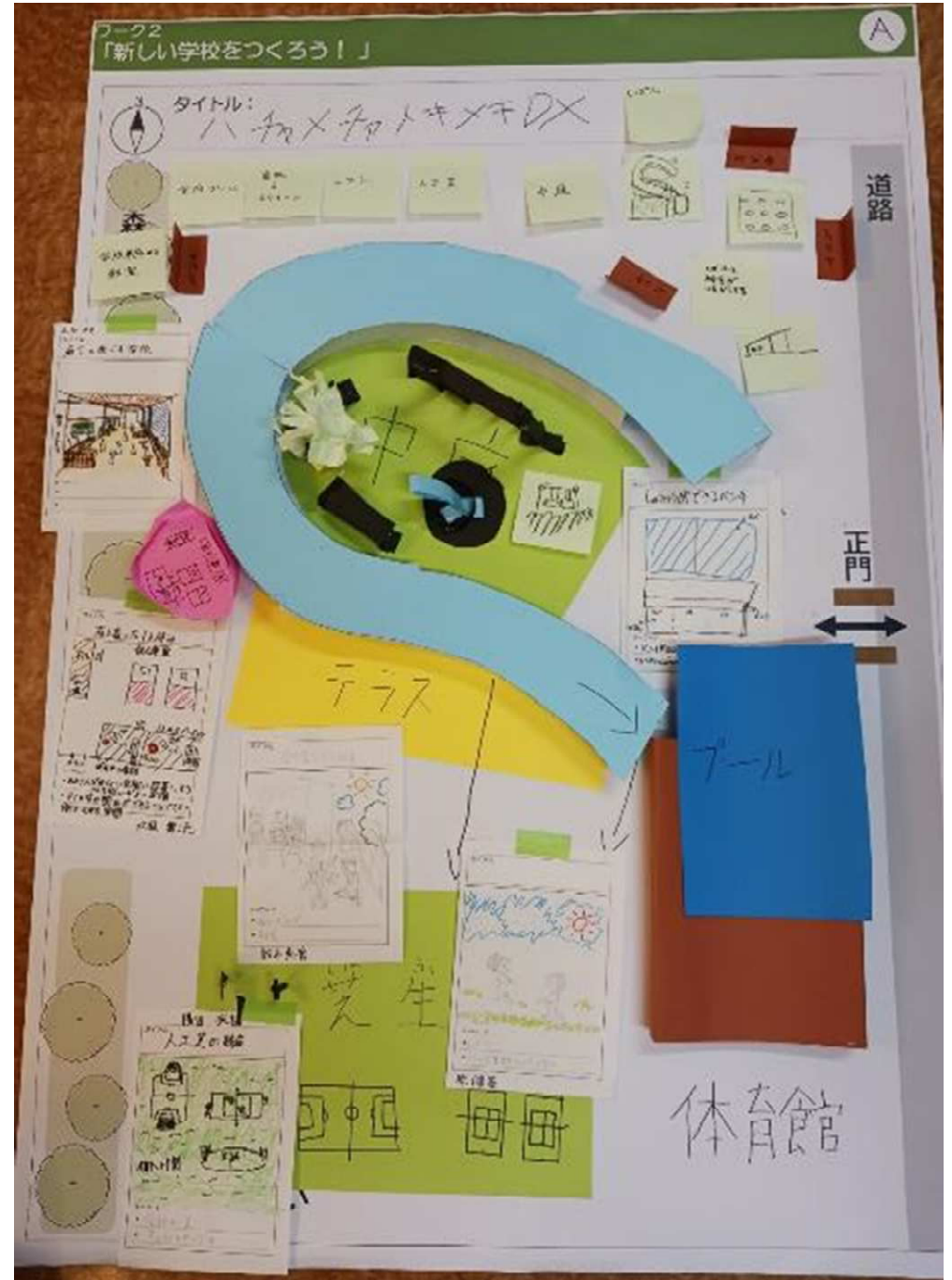
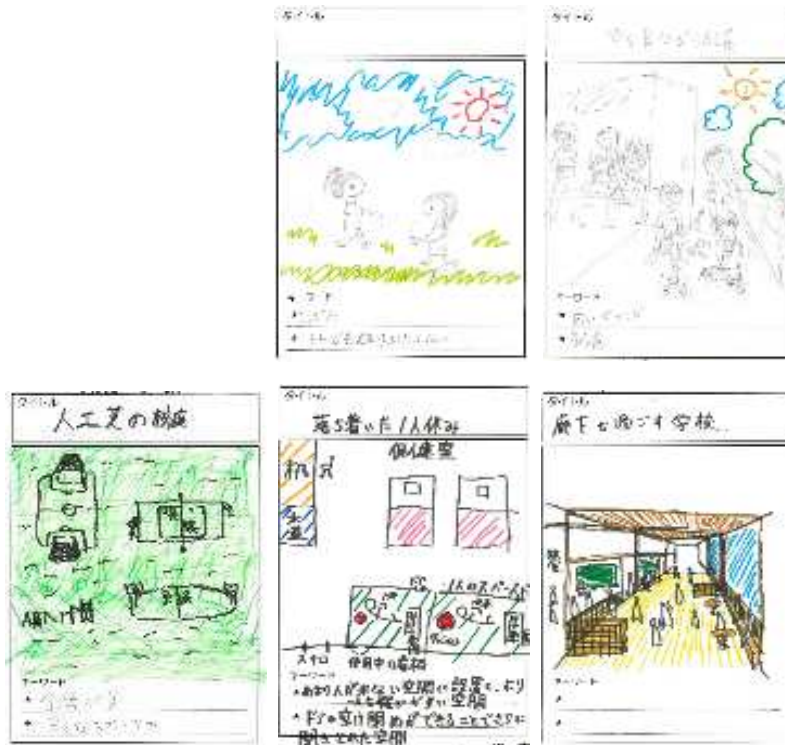
Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

A

タイトル：ハチャメチャトキメキ DX

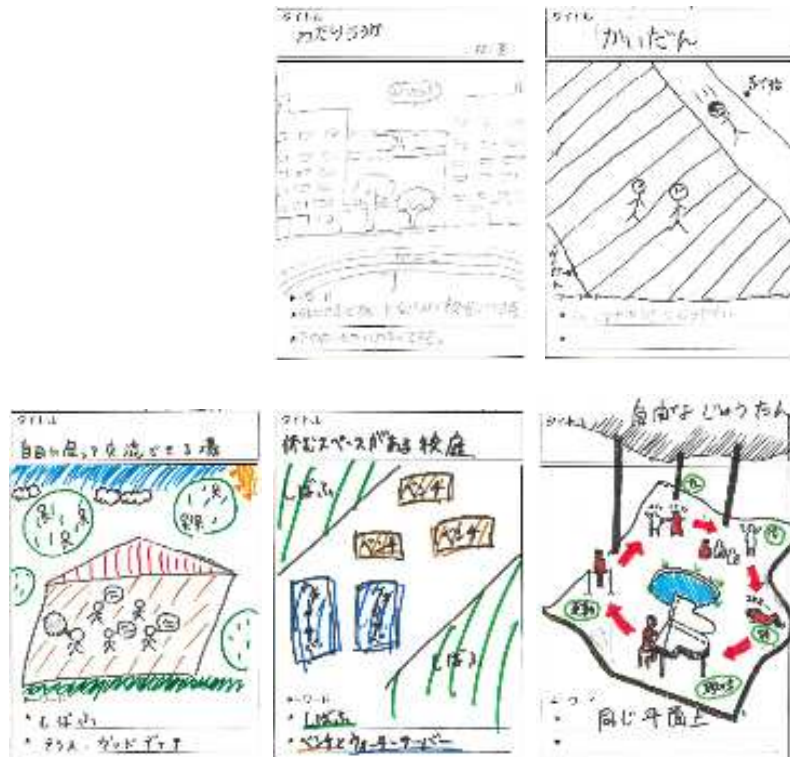
- 校舎は、中庭を囲むように曲線的な形にして異学年で交流できる。
- テラスから芝生広場に出て、空をみながら給食を食べられる。
- 中庭の中心にある噴水を見ながら休める、木の横にあるベンチがおすすめ。



Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

- B** タイトル：交流の場が中心の学校
- 中庭を介して、すべての建物にアクセスできる。全学年が往来することで交流につながる。
 - 中庭と建物の間にある半屋外のテラスが、居心地の良い居場所となる。
 - 校舎と校舎は渡り廊下でつなげ、往来しやすくする。



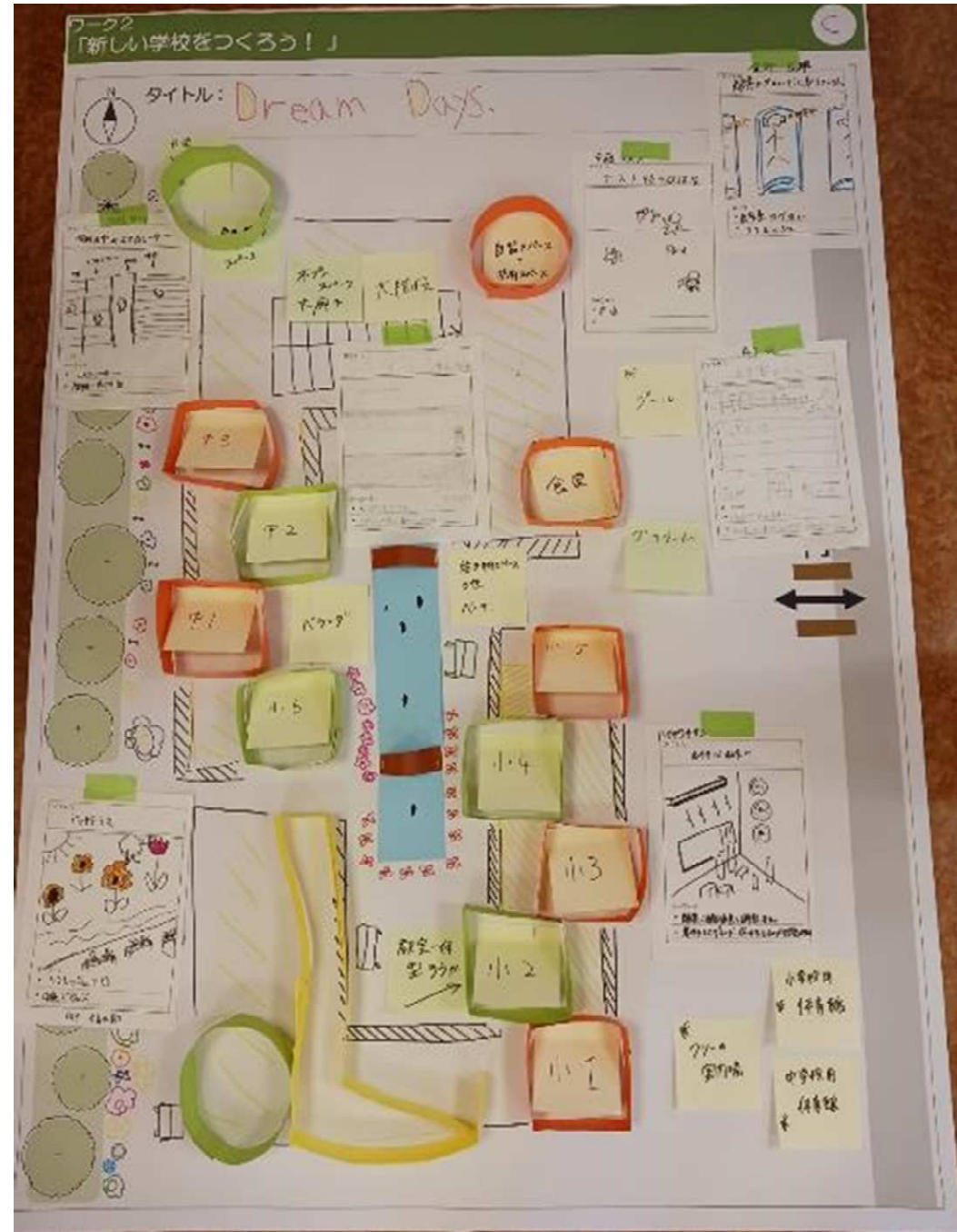
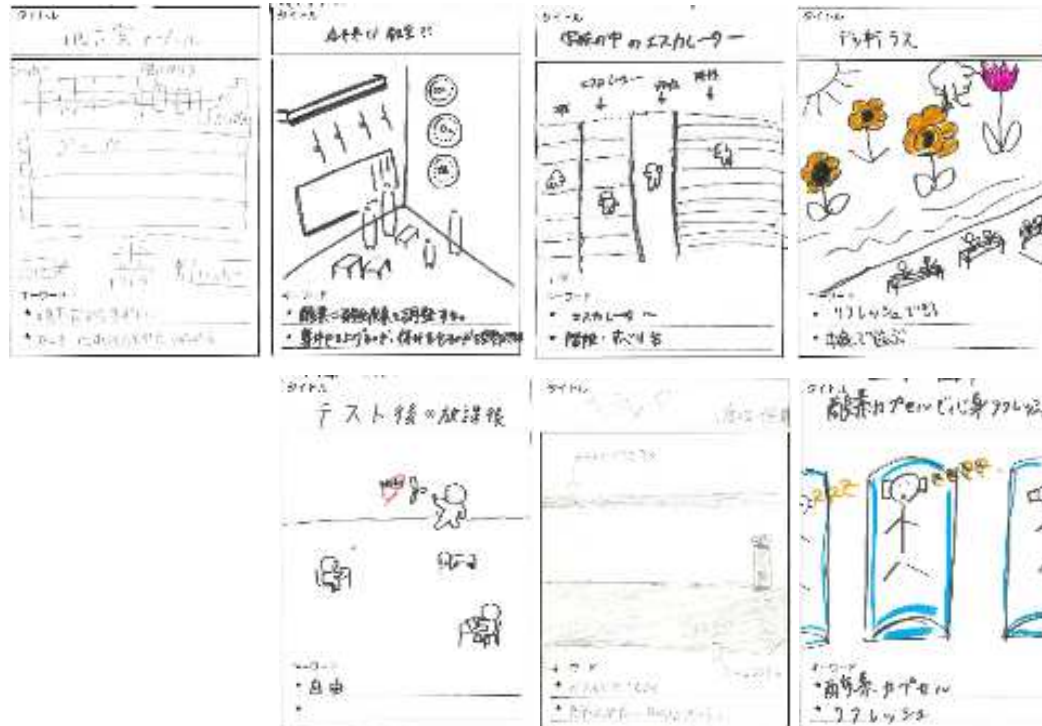
Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

③

タイトル：Dream Days.

- 1階はクラスルーム、2階は特別教室を配置する。
- クラスをジグザグに配置し、バルコニーや廊下を共有することで、他クラスと交流ができる。
- 中庭に池や花壇を置くことで、気分転換ができる。
- 校舎の角には、勉強や交流ができるオープンスペースを配置した。
- いたるところにベンチを置いて、リフレッシュの場に。



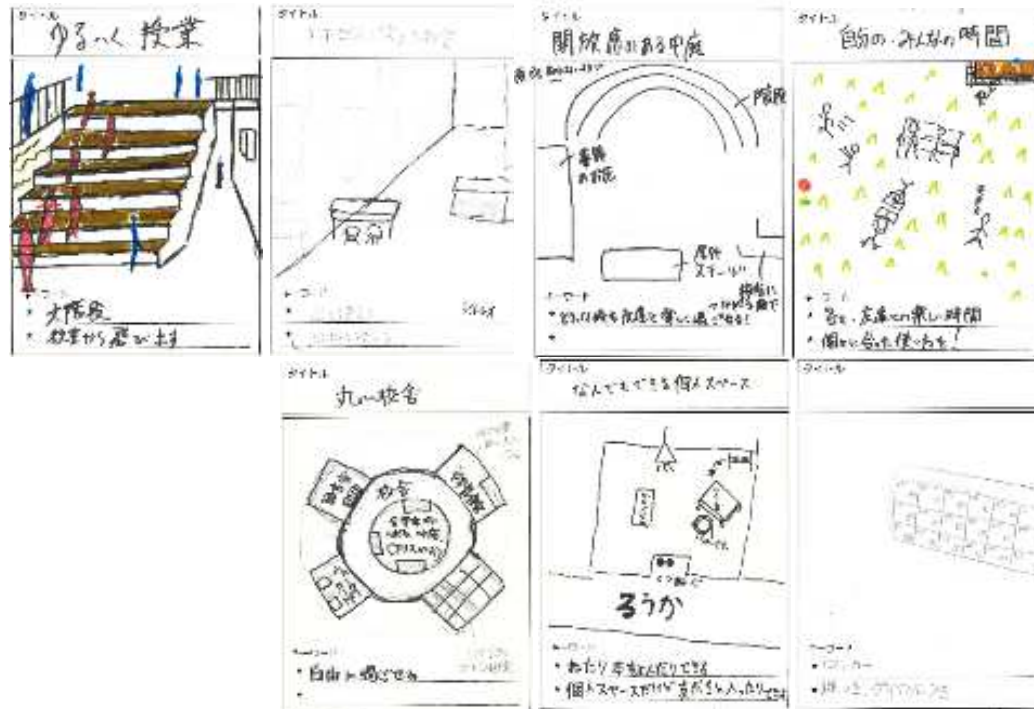
Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

D

タイトル：庭でつながる学校

- 中心に中庭を配置し、校舎が囲む。校舎内は外側から順に廊下→教室→バルコニー→中庭と構成した。バルコニーから中庭にかけて交流が生まれる。
- 1階は小学生で、1・2年生、3・4年生、5・6年生ごとにゾーンをつくり、学び合い、助け合いができるように。
- 2階は中1・2、3階は中3として、受験生は落ち着いて過ごせるようにする。
- 庭を中心として、中心から全学年が登下校を行う。
- 職員室は1、2階に縦につなげ、先生同士も小中の連携がとれる。



Ⅱ) こども部会

3-2 ワーク2「新しい学校をつくろう！」結果まとめ

考察

○交流の場

- 各グループに共通して見られた特徴として、**中心に中庭を配置し、学年を超えた交流の場**として活用するというアイデアが挙げられました。中庭は、異なる学年の児童生徒が自然に交わることができる空間として位置づけられており、学校全体のつながりを生む核となっています。
- さらに、中庭のようなまとまった交流空間だけでなく、**教室と教室の間や学年ごとのゾーニングの境界にオープンスペース**を設けることで、他クラス・他学年との偶発的な交流を促す工夫も提案されています。

○憩いの場・開放感

- 各案には、芝生広場や噴水・池、花壇など、**自然を感じられる要素**が取り入れられています。
- また、「空を見ながら給食を食べる」や「開放的なテラスで過ごす」といったアイデアからは、**屋外とのつながりを意識**して配置が考えられていることが分かります。
- これらの提案からは、自然と調和した開放的な環境が心地よく**、リラックスや気分転換につながる場として求められていることが分かります。

Ⅱ) こども部会

4. 感想アンケートの結果

(小中高校生)

Q.いろいろな年齢の人と一緒に過ごしてみて、今後の学校生活に役立つことはありましたか？

建築の大学生がいて、いろいろ建築のことを知れた！/大根中学校がどんな感じが少し分かった/年齢が違うので、考え方が違い、説得力があってすごかった/年上の人の意見は理想と実際のことを分けて考えられていてすごいと思った。とても参考になった。/新しいことを知れる、協力して話すときの緊張が減る/話のきっかけをつくったり、何かに率先して取り組む姿を見習いたい/高校生大学生と関われることは少ないので、貴重な経験になりとても楽しかった/普段の学校生活からはあげられない立場の意見を聞くことができた。/自分と違う考えが聞けて面白かった/異学年交流をもっと活発に行いたいと思った。/

(大学生)

Q.小中高校生と関わってみて、気づいたことや感想を教えてください。

自分にはない柔軟で予想外の発想に感心した。それぞれの視点からの自分なりの意見を出せていたと思う/自分たちでは現実的になってしまう中で自由に発想が生まれてくる/当事者だからこそその視点が面白かった/小中高校生の意見の方が、現代の問題を捉えていたと感じた/小学生も中学生もお互いに交流に対する意欲が見られた

Ⅱ) こども部会

4. 感想アンケートの結果

自由意見

(小中高校生)

グループワークがとても楽しかった/みんなで交流するのが楽しかった/年上の人が優しくしてくれてうれしかった/大学生がリードしてくれてとてもやりやすかった/いろいろな人と話して、話すときの自信がついた/チームで楽しめた/お昼ご飯をみんなと仲良く食べれた/いろいろな経験や出会いがあり、楽しい思い出ができた/大学生が分かりやすく話を進めてくれてカッコよかった/小さい子と関わる機会がなくなっていたのでとても良い交流だった

(大学生)

年齢の壁を超えて話をすることができ、貴重な体験となった/1から学校をつくるということが初めてで、楽しさもあり新たな学びもあった/本当に楽しく、たくさんのことを学ぶことができた/こどもの発想は本当に豊かで良いと感じた/他学年と交流するという貴重な体験でとても楽しかった